



# ネイチャーセンターだより

2014年6月号



## コガラ (シジュウカラ科)

学名 *Poecile montanus*

英名 Willow Tit

ハシブトガラにそっくりのカラの仲なか間まです。根室ではハシブトガラよりねむろ数が少ない傾向があります。ハシブトガラに比べ、クチバシが細くほそて直ちよく線的で、翼の次列風切の縁の白しろい部分ぶぶんがやや目立ちます。”チチョー、チチョー、チチョー”などと鳴きます。

## 6月の見どころ

### 【上旬】

春国岱で子育てをする小鳥たちが勢ぞろいします。草原では、シマセンニュウやマキノセンニュウ、ベニマシコ、ノビタキ、ノゴマ、コヨシキリなどがさえずり、湿原では、オオジシギのディスプレイ・フライトやタンチョウのつがいの姿が見られます。森では、スミレの仲間が花を咲かせます。



ノビタキ

### 【下旬】

センダイハギやハマエンドウ、ヒオウギアヤメ、コウライテンナンショウ、エゾカンゾウ、マイヅルソウなど初夏の花が咲きます。6月の終わりには、ハマナスの花が咲き始めることも。草花を楽しみながらノビタキやオオジュリン、コムクドリなど子育てに忙しい小鳥たちの様子が見られます。



センダイハギ

# 見どころ MAP

草原では、ヒバリやノビタキ、ノゴマ、コヨシキリ、シマセンニュウなどが子育てをしています。

湿原や干潟では、タンチョウやシロチドリが食べ物を探しています。

コウライテンナンショウやバイケイソウなどが咲き、アカゲラがあちこちの木をつつきます。樹洞ではコムクドリなどが子育てをしています。

ルリビタキ、コマドリ、ミソサザイなどのさえずりがきこえてきます。

— 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)  
— 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)  
— 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)  
— 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

— 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)  
— 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)  
 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)  
 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 外から来た生物

千島桜が咲く頃、根室でも外来生物の活動が活発になりセイヨウオオマルハナバチなどが見られるようになります。セイヨウオオマルハナバチは、名前の通りヨーロッパから作物の受粉の媒介をしてもらうために連れてこられました。このように人の手によって本来の生育・生息地から元々生育・生息地ではなかった場所に連れてこられた生き物を外来生物といいます。さて、根室にはどんな外来生物がいるのでしょうか？身近なところでは、春に道路沿いに咲く菜の花のようなハルザキヤマガラシなども外来生物です。前からとてもたくさんの外来生物が普通に身の回りにいるのですが、最近なぜ問題視されているのでしょうか。それは、日本に定着し増えてきた外来生物の中に、日本に元からいた生き物の生存や生物多様性を脅かしたり、農作物に大きな被害を与えたりするものがあることがわかってきたからです。環境省は、特に影響が大きく対策が必要な種類を特定外来生物として指定しています。根室ではこれまでにアライグマ、アメリカミンク、ウチダザリガニ、セイヨウオオマルハナバチ、オオハンゴンソウといった特定外来生物が見つかっていて、ウチダザリガニやセイヨウオオマルハナバチについては防除活動が行われています。その他にも、ハルジオン、メマツヨイグサ、アメリカオニアザミ、オオアワダチソウ、外来タンポポ種群、エゾノギシギシ、ヒメジョオン、ハルザキヤマガラシ、セイタカアワダチソウ、オオアワガエリ、アカミミガメ、ニジマスなど生態系に大きな影響があるのですがあまりにも広く利用されているなどの理由で特定外来生物への指定が見送られている要注意外来生物もいます。

外来生物問題を深刻化させないために法律で規制されている種類以外でも取り扱いに注意する必要があります。環境省では、外来生物被害予防三原則として①入れない、②捨てない、③ひろげないを掲げ、その実践を呼びかけています。



ハルザキヤマガラシ



セイヨウオオマルハナバチ

## タンチョウ繁殖状況調査

3月末に越冬地の釧路方面から風蓮湖・春国岱に戻ってきて、夏の間この辺りで子育てをするタンチョウたちが、無事に繁殖をしているかどうかを確認する調査を毎年5月から7月にかけて行っています。

今シーズン初めての調査は5月15日に行いました。いつもの通りのなわばりにタンチョウのつがいに戻ってきていましたが、まだヒナがかえっているような様子は見られませんでした。それどころか2羽でのんびりと採餌していて、今年は繁殖をしないのかと思われるつがいもありました。確認できたタンチョウが1羽だけのところが数か所あったので、もしかすると抱卵か育雛をしているかもしれません。また来月の調査で確認できることを期待して、今回の調査は終了しました。

その他にも、ちょうど調査を行った日がシギ・チドリたちの渡りのシーズンだったため、調査の途中の干潟で、夏羽に換羽中のツルシギとエリマキシギに出会うことができました。

次回の調査は、6月を予定しています。タンチョウだけでなく夏鳥たちの様子も確認したいと思っています。



## 春国岱クイズ

4月の終わりごろ、オーストラリアから根室に子育てのためにやって来るオオジシギ。渡ってきた後、なわばりをはったりメスを呼ぶために、ディスプレイ・フライトという目立つ飛び方をします。この時鳴き声以外に、とても大きな音を立てますが、どうやって音を立てているのでしょうか？  
(A, Bから答えを選んでください)

- A. 急降下しながら尾羽を広げ、尾羽で風を切って音を出す
- B. 飛びながらくちばしを打ち鳴らして音を出す



ヒント：

上の写真をよく見てみましょう。

先月号の答え…B

# イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ  
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
6月14日(土) 10:00～ 12:00	<b>ネイチャーゲームで森あそび</b> チョウチョやトンボ、ヨブスマソウや子ガエル。いろいろな生き物がすむ自然学習林をネイチャーゲームを使って探検しよう！どんな自然を見つけられるかチャレンジ！！	100円 (保険料)	定員 20名(先着) 6/10までにお申込みください ※どなたでも(小学生以下は保護者同伴) ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる服装、長ぐつ
7月20日(日) 13:00～ 15:30	<b>春国岱 外来生物バスターズ</b> 自然豊かな春国岱に侵入してきた外来生物などを減らす活動に参加してみませんか。外来生物ってなんだろう？ボランティア活動ってなにをするの？という方も自然を楽しみながらちょっと自然にいいことをしてみようという方も気軽にご参加ください。	無料	定員 20名(先着) 7/18までにお申込みください ※小学生以上(小学生は保護者同伴) ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる服装、軍手、長ぐつ
7月7日～ 7月27日 開館時間中	<b>タンチョウイラストコンテスト</b> 釧路や根室の小中学生が描いたタンチョウのイラストを展示します。生徒たちの力作をぜひご覧ください。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご覧いただけます。

## ボランティアさん募集中！

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スunkと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。  
レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。  
いつからでも、経験がなくてもはじめられます。  
気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料(年間)：  
フィールドボランティア 300円  
ボランティアグループスunk 1500円

## フィールドマナーを守って



- 自然や生きものが安心して暮らせるように…
- 観察路から外れないようにしてください
  - 動植物の採取や捕獲はしないでください
  - ゴミはお持ち帰りください
  - 所定の場所での喫煙にご協力ください
  - 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
  - キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆6月の休館日 : 4、11、18、25日

◆6月の開館時間: 9:00～17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。(要 事前申込)



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月 登録